

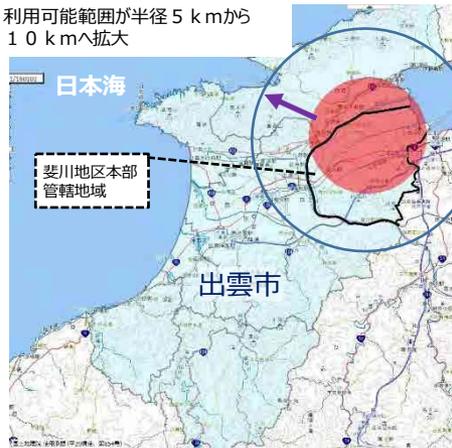
## 経営体の概要

- ・所在地：島根県出雲市斐川町
- ・取組主体：島根県農業協同組合（斐川地区本部）
- ・栽培作物・作付面積：水稲1,325ha、麦類91ha、豆類95ha等（斐川町内、2015年農林業センサス）  
（令和6年5月現在）

## 導入技術

- ・RTK-GNSS基地局（常設）

利用可能範囲が半径5 kmから  
10 kmへ拡大



↑自動操舵ユニット装着トラクターによる  
大豆の耕起播種・除草剤散布作業  
（1行程飛ばし）

受託作業を行うGNSSレバラー



← 自動操舵+  
ISOBUS対応  
プロトキャストの  
実演

## 導入経緯

- 斐川地区本部管内では、土地利用型作物における経営の大規模化が著しく、省力化・高能率化が課題であった。
- H28年、自動運転機械等の導入基盤として、管内平坦部のほぼ中央にあるJA施設の屋上に無線式RTK-GNSS基地局(利用可能半径5 km)を設置。
- その後、R元年にインターネット利用(Ntrip)式とし、利用可能範囲を半径約10 kmに拡大するとともに、無線型にあった死角を解消した。

## 取組の特徴・効果

- 管内の個人・農業法人において、RTK-GNSS機器の導入が始まり、平成30年の春時点において、受信機(ガイダンス機器)8台、うち自動操舵3台が導入された。
- 利用者の評価
  - ・水稲の乾田直播栽培のための均平作業が、強風やレーザの輻輳等の影響を受けずに行えるようになった。また高低差マップを示せるので依頼者にも好評。
  - ・トラクター作業の軽労化、高速化。代かき時に耕盤に残るトラクターの轍が田植機の進路と平行になり、安定した田植作業が可能になった。